

経営比較分析表（令和4年度決算）

広島県 北広島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	26.42	68.30	3,690

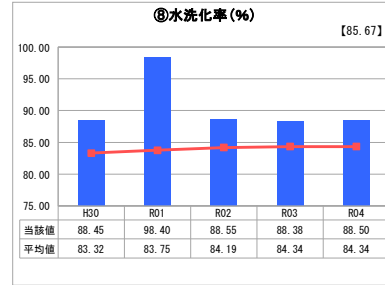
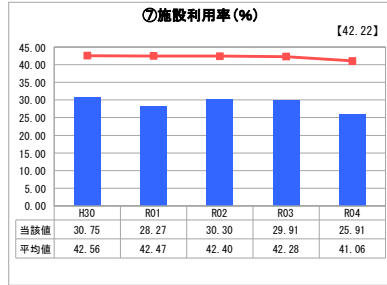
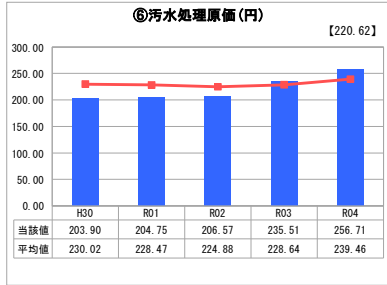
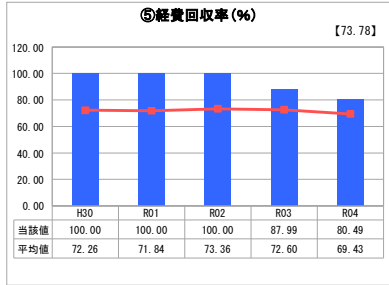
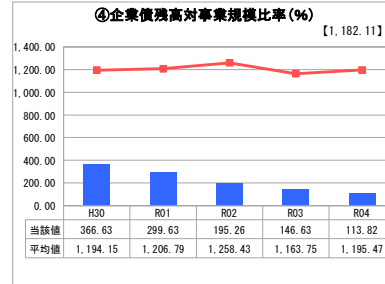
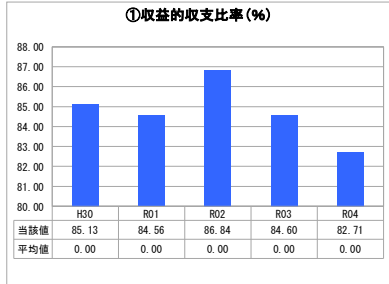
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,471	646.20	27.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,581	2.99	1,532.11

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は100%を下回っており、単年度収支は赤字である。
 ②地方債償還金は減少しているが、維持管理費用の増加により収支比率が減少した。単年度収支赤字縮減に向けて総費用削減等の経営改善に取り組んでいくことが必要である。
 ③企業債残高対事業規模比率は地方債現在高とともに順調に減少している。類似団体と比較しても、平均を大きく下回る結果となっているが、これは地方債現在高のうちの一般会計負担額の占める割合が大きいためである。
 ④経費回収率は、100%を維持してきたが、令和3年度決算から下回ることとなった。使用料収入の減少や汚水処理に係る費用が増加したことが要因となる。
 ⑤使用料収入の見直しや、汚水処理経費削減など、安定した経営ができる取り組みを進めていく必要がある。
 ⑥汚水処理原価は大幅に増加し、類似団体平均より高い単価となった。原因として、汚水処理費の増加や年間有収水量が減少したことが挙げられる。
 ⑦施設の老朽化や人口減少による有収水量の減少を踏まえ、更に効率的な汚水処理を実施していく必要がある。
 ⑧施設利用率は類似団体と比較しても、平均を下回っており、施設の効率性の面では、適正な施設規模とは言い難い数値であり、施設運営の効率化等検討していく必要がある。
 ⑨水洗化率は類似団体と比較しても、平均を上回っており、引き続き水洗化率の向上に努めていく。

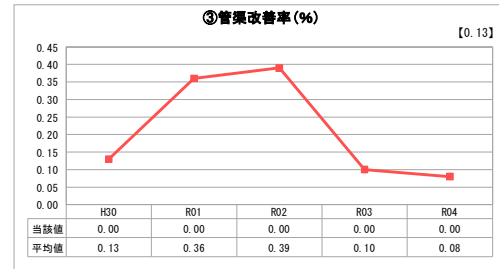
2. 老朽化の状況について

③現況では、法定耐用年数を超える管路は出ていないが、施設の老朽化が進み不明水等の増加に繋がることが懸念される。
 ④今後は事業費の平準化に向けた対策をとりながら、適正な時期に適正な管路更新を実施する計画的な資産管理を行う必要がある。

全体総括

当町の特定環境保全公共下水道事業は、地方債償還金は減少していかなく、人口減少による有収水量の減少、施設等の老朽化や動力費の高騰による費用の増加により、単年度赤字が増加傾向にあることが課題である。
 令和6年度からの法適化を見据え、料金改定など更なる健全な経営を図っていくため、将来を見越した計画的な経営改善を行うことが急務である。

2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。